

清掃工場等の焼却灰等測定結果

野田市では、清掃工場及び関宿クリーンセンターの焼却灰等の放射能濃度測定を実施しました。測定の結果は、放射性ヨウ素は検出されず、放射性セシウムについては、清掃工場の飛灰で 121 ベクレル、主灰で 54 ベクレル、関宿クリーンセンターの飛灰で 80 ベクレル、残渣で 51 ベクレル、固化灰で 125 ベクレルであり、いずれも一時保管などの措置が必要となる国の基準(8,000 ベクレル/kg)を下回っていました。

野田市では、堆肥センターにおいて剪定枝や草・落ち葉等の堆肥化が進められていたことから、清掃工場や関宿クリーンセンターにおける剪定枝等の焼却量が他市に比べ極端に少ない状況であることから、放射能濃度が低いものと考えております。

一方、堆肥センターでは3月以降に搬入された剪定枝等の放射能濃度が 2,000～2,500 ベクレルと高いため、堆肥としての出荷は行わず、今後、処分方法を検討してまいります。2 月以前に搬入された剪定枝等については、従来どおり堆肥化して出荷してまいります。

なお、現在実施している剪定枝等の受入れについては、当面継続します。

1. 採取日 平成 23 年 7 月 12 日

2. 測定施設

(1) 清掃工場(野田市三ツ堀 356-1)

(2) 関宿クリーンセンター(野田市古布内 1940-1)

3. 分析結果(速報値)

(単位:ベクレル/kg)

測定施設	測定品目	放射性ヨウ素	放射性セシウム
			(134 と 137 の合計値)
清掃工場	飛灰※ ¹	不検出	121
	主灰※ ²	不検出	54
関宿クリーンセンター	飛灰	不検出	80
	残渣※ ³	不検出	51
	固化灰※ ⁴	不検出	125

測定品目の説明

※¹飛灰＝焼却処理過程で集塵機などで捕集した排ガスに含まれるダスト(ばいじん)のこと。

※²主灰＝焼却炉の炉底に落下した灰

※³残渣＝焼却炉の底部より排出される焼却されないもの。

※⁴固化灰＝飛灰を最終処分場において安定的な処分を行なうため、セメントを添加したもの。

なお、清掃工場と関宿クリーンセンターとで測定品目が違うのは、焼却処理方式が違うことによるものです。

【問合せ】

清掃第一課 電話 7138-1001 関宿クリーンセンター 電話 7196-0022

農政課(内線 2342)

